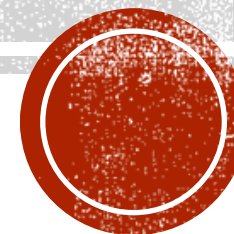


図書館TA講習会

児童労働と フェアトレード

濱口 喜広（総合図書館TA・経済学研究科D3）



2017年1月12日、2月7日

① 解説編 12:20～12:50（30分間）

② ワーク編 13:00～14:00（1時間）

@総合図書館ラーニングコモンズ

1.資源の呪いとは

■ 資源の呪いとは、

再生不可能資源(石油・レアメタル)や
再生可能資源(コーヒー豆・バナナ)

↓ 豊富だと・・・

天然資源の輸出に依存

↓ インフラ整備や医療・教育などの

↓ 基礎投資を怠り・・・

モノカルチャー経済へ

↓

経済発展が停滞



図1.コンゴの採石場で働く子ども達 出所: [Sasha Lezhnev / ENOUGH Project \(CC\)](#) (2010)



図2.コーヒー豆を運ぶ子供たち
出所: [Adam C. Baker](#) (2007).

["Wikimedia Commons"](#) Public domain



図3.エクアドルの採石場で働く子供たち
出所: [Maurizio Costanzo](#) (1990).

["Wikimedia Commons"](#) Public domain

1.資源の呪いとは

■ 天然資源とGDP水準

天然資源を輸出している国ほど

経済成長率が低い

教育水準が低い

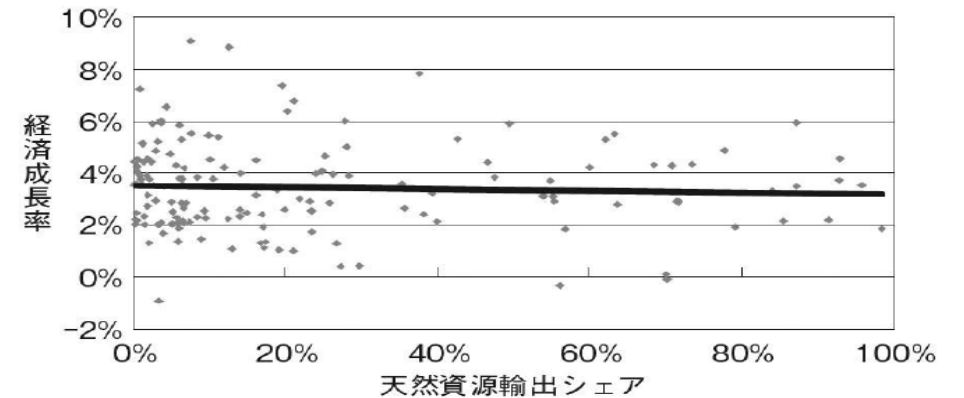
〇〇〇〇が低い

■ 資源の呪いの原因は？

- ① プレビッシュ・シンガー仮説
- ② オランダ病
- ③ 商品財価格の変動性
- ④ 為替レート
- ⑤ 政治的腐敗
- ⑥ 国際紛争

色が濃い国ほど、
資源の呪いに
陥っている

図4. 天然資源輸出シェアと経済成長率の関係について



(注) 153カ国が対象。いずれの国も1970年から2010年までの間のデータを採用している

出所：World Bank, "World Development Indicators"

出所：「資源の呪い」. 「ちょっと教えて！現代のキーワード」さ行. 東レ経営研究所より引用

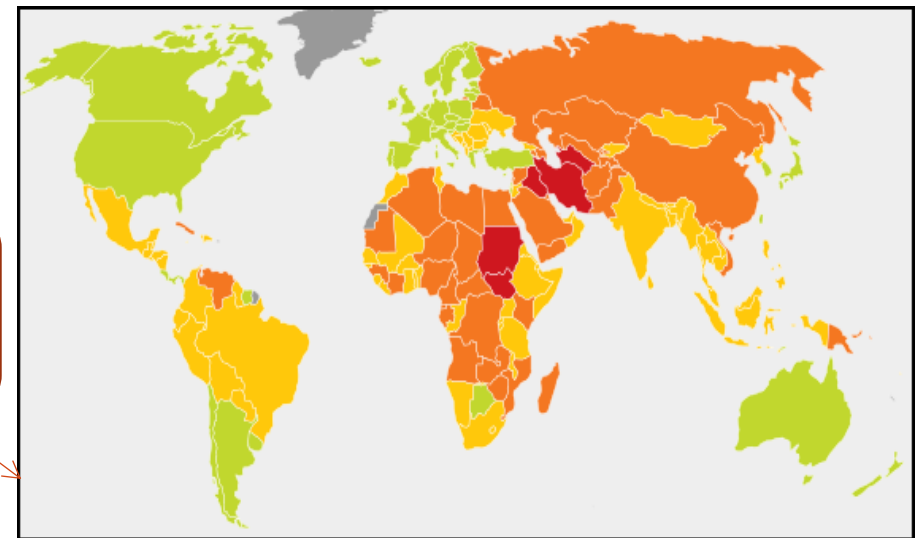


図5. 天然資源量と経済水準の関係

出所：Issues of Justice in Global Development . FEW Resources.orgより引用 (オリジナルはVerisk Maplecroft)



1. 資源の呪いとは

- 資源の呪いとしてのコーヒー
コーヒー生産国ほど、GDP水準が低い
- 植民地支配から国際流通機構の整備へ
 - ① コーヒー豆の発見
↓ ムスリムへの浸透
 - ② 植民地支配によるプランテーション
↓ コーヒーハウス/強制裁培制度
 - ③ 生産国の独立とカルテル化
↓ コーヒー戦争/珈琲価格暴落
 - ④ 国際コーヒー機関(ICO)の設立
↓ 輸出割当/先物市場
 - ⑤ コーヒーによる南北格差

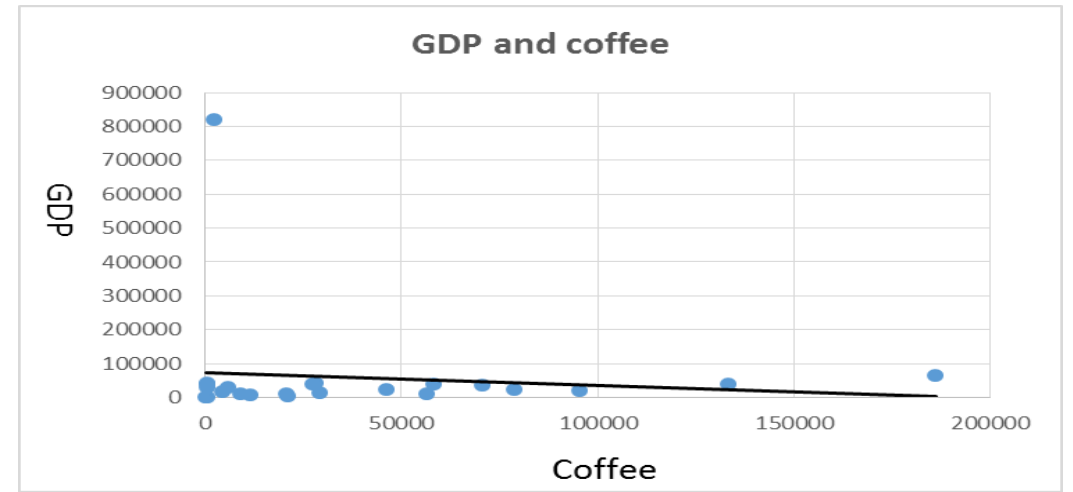


図6. コーヒー豆生産量とGDP水準の関係
出所: [FAO STAT](#), [Penn World Table, version 9.0](#) より濱口作成



図7. コーヒー豆の伝播図(南米への伝播を除く)
出所: Alex E. (2016). [Coffee Map](#). より引用



1. 資源の呪いとは

- 主なコーヒー生産国

アラビカ種/モカ種：高級品 → 喫茶店

ロブスタ種：低級品

→ 缶コーヒー/インスタントコーヒー

- コーヒー多国籍企業

ネスレ/クラフト・フーズ/P&G/サラ・リー

- 主なコーヒー消費国

色が濃くなる程、消費量が多い⇒ 南北格差

- コーヒーによる3つの搾取

①付加価値 ②中間マージン ③不正行為

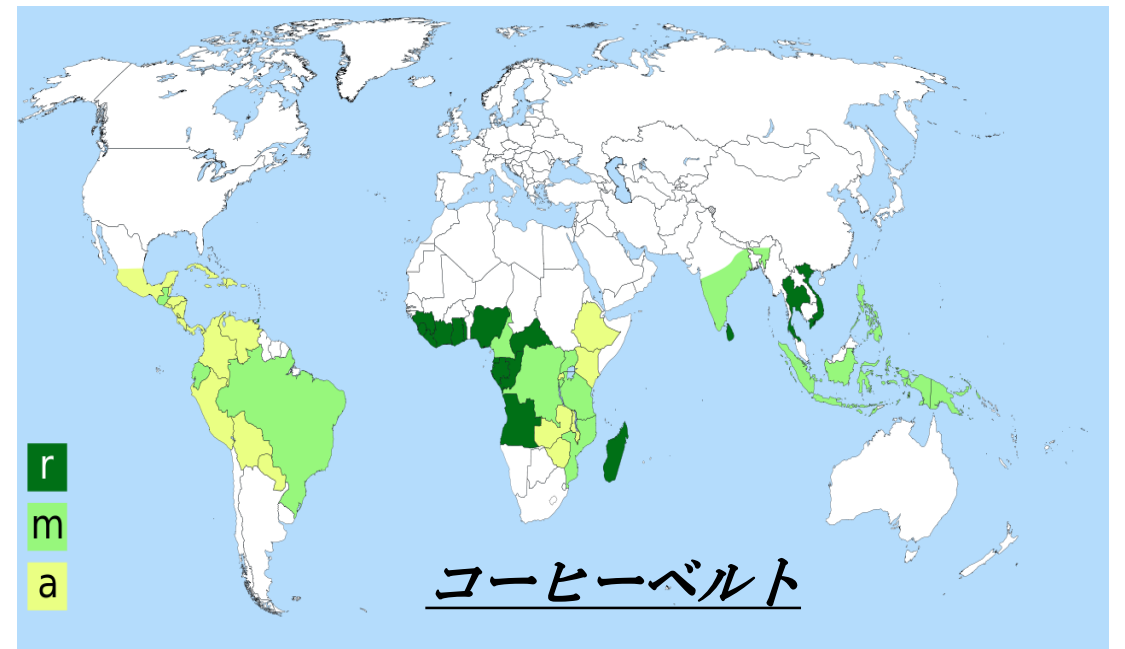


図8. コーヒー豆主要生産国とコーヒーベルト

出所：Green G. (2010). "Wikimedia Commons" "Public domain"

都合により割愛

図9. コーヒー豆の主要消費国



1. 資源の呪いとは

- 国際コーヒー機関(ICO)

生産国 45 カ国と輸入国 30 カ国

輸出入国間の格差是正と価格・供給安定

- 国際コーヒー協定

1962年～1989年の輸出割当制度

度重なるコーヒー豆価格の暴落

- ニューヨーク取引所

水洗式アラビカ(中米、南米、アジア、アフリカ)

アラビカ種の代表的な先行指標価格

- 先物取引としてのコーヒー：価格変動リスク

リスクヘッジ目的 ⇔ 裁定目的 ⇔ 投機目的

都合により割愛

図10.生産国から消費国へのコーヒー豆の流通経路

出所:Marketing Guide for ASEAN Exporters to Japan

March 2007, All Japan Coffee Association Coffee Statistics October 2006



図11.国際コーヒー豆価格の推移とフェアトレード取引価格

出所：[Fairtrade Labelling Organizations International, e.V.](#)より引用



1. 資源の呪いとは

- コーヒーによる搾取：付加価値
 - ① 摘み取り・運搬：労働集約的
 - 完熟豆の選別
 - 豆・木を傷めない
 - 交通網の整備具合



図.12a



図.12b



図13.ニカラグアのコーヒー豆・プランテーション農園で働く少年
出所：[World Politics Review LLC](#) (2015).
より引用



図.12c



図.12d



図.12e



図.12f



図.12g

- ② 洗浄/乾燥
 - 自動水洗機の有無
 - 自動乾燥機・人力乾燥
 - 大型倉庫の有無
 - 乾燥豆は長期保存ができ、劣化しない
- ③ 焙煎：資本集約的
 - コンテナ輸送
 - 大型焙煎機
 - コーヒーの美味しさは、焙煎で決まる

1.資源の呪いとは

■ コーヒーによる搾取：中間マージン（ルワンダ）

①流通機構

小規模農家：取引網の未整備

フェアトレード流通網の整備が必要

大規模農家：取引網の整備

大規模倉庫/輸送トラックの所有

②コーヒー価格

国際価格の高い変動性

生産者価格・市場価格・公定価格の乖離

→ ルワンダ内戦の勃発とジェノサイド

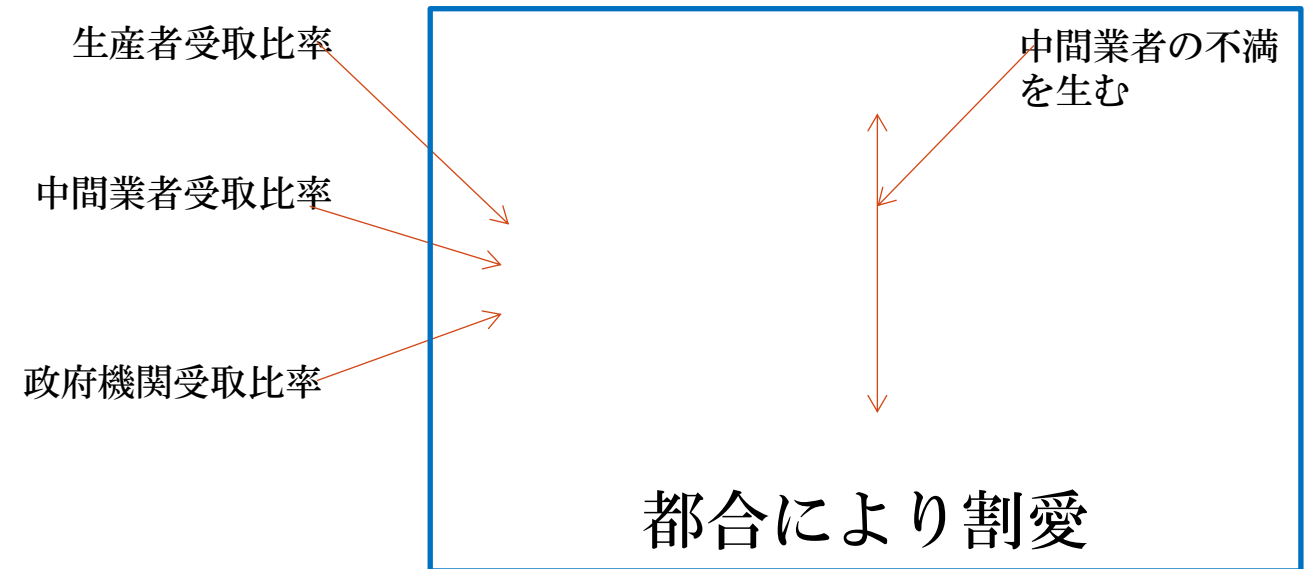
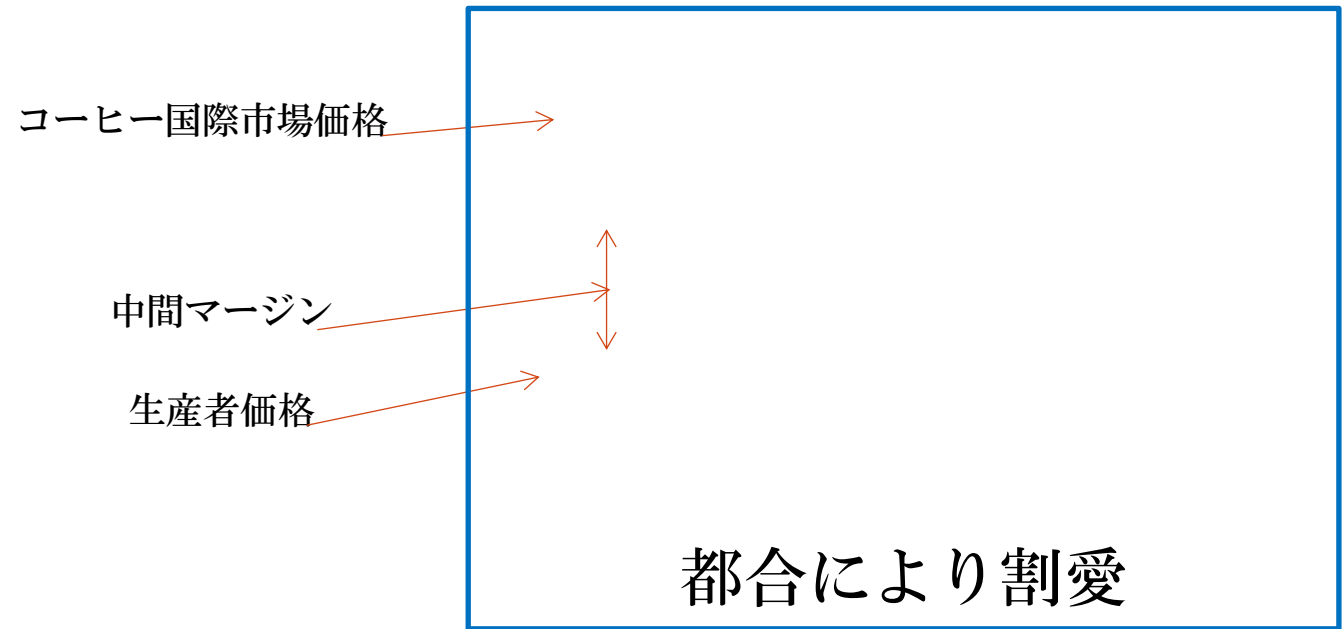


図14:ルワンダ・コーヒー豆価格の生産費内訳とコーヒー豆収入の受取比率
出所：Verwimp, Philip, 2003. "The political economy of coffee, dictatorship, and genocide,"
European Journal of Political Economy, Elsevier, vol. 19(2),より引用

1. 資源の呪いとは

■ コーヒーによる搾取：不正行為

天然資源が豊富

→ 資源収入

→ 汚職をしない

→ 教育・インフラ投資

→ 経済発展

→ 政府汚職

→ 放漫財政

→ 経済衰退

→天然資源が豊富な民主主義国家

アメリカ・ノルウェーなど

天然資源が豊富な非民主主義国家

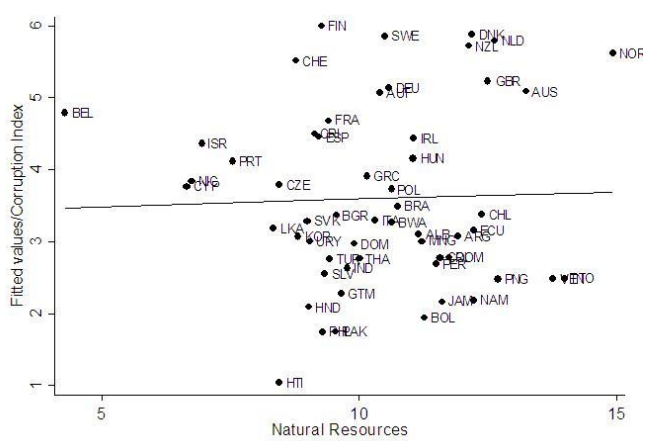
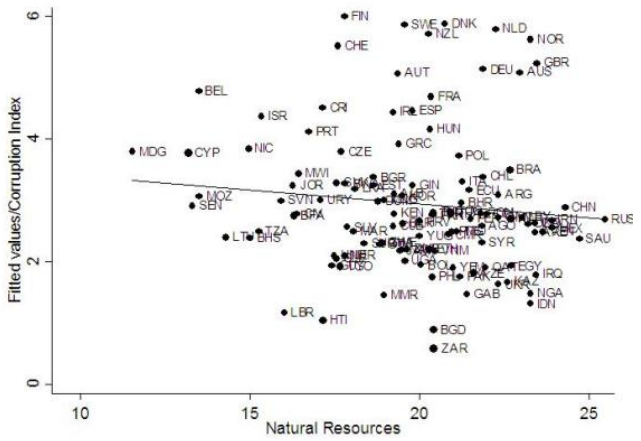
独裁国家・権威主義国家

■ 政治的資源の呪い

資源の過多より、政治制度の発達度合いが重要では？

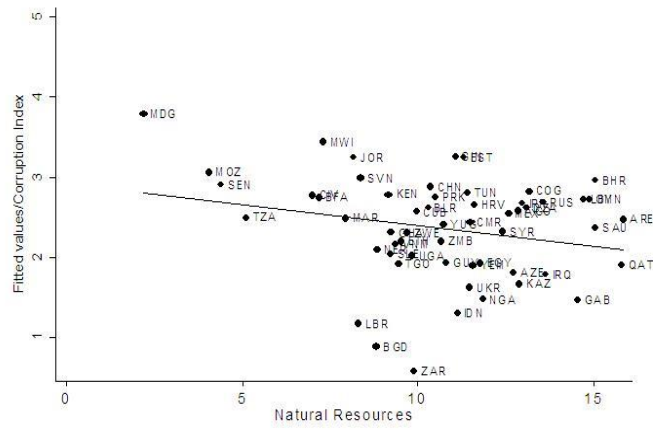
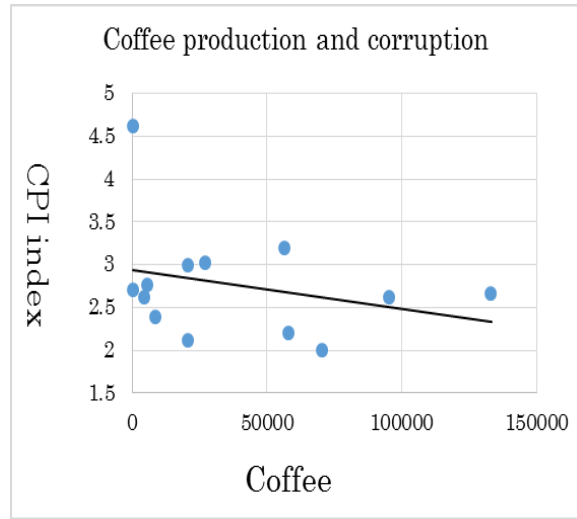
土地所有制度は、そもそも公平な分配だったのか？

→ 植民地支配/大地主/商人/小作人/移民/奴隷



a. 全世界
 コーヒー豆生産量と
 政治的透明度の関係を
 見てみると・・・

b. 民主主義国
 負の相関に見えるが、
 国をグループ分けしてみると・・・



c. 非民主主義国

図16. コーヒー豆生産量と政治的透明度の関係
 出所：FAOSTAT, CPI by Transparency International
 より濱口作成

図15a-c: 資源の呪いと民主主義度の関係
 出所：Sambit Bhattacharyya, Roland Holder. (2009-11-13). [Natural resources and corruption: Is democracy the "missing link"?](#) より引用



2. 資源の呪いと児童労働

■ 児童労働の定義

法律で定められた就業最低年齢を下回る年齢の児童(就業最低年齢は原則15歳、健康・安全・道徳を損なう恐れのある労働については18歳)によって行われる労働

■ 最悪の形態としての児童労働

- ① 人身売買、徴兵を含む強制労働、債務労働などの奴隷労働
- ② 売春、ポルノ製造、わいせつな演技に使用、斡旋、提供
- ③ 薬物の生産・取引など不正な活動に使用、斡旋、提供
- ④ 児童の健康、安全、道徳を害するおそれのある労働

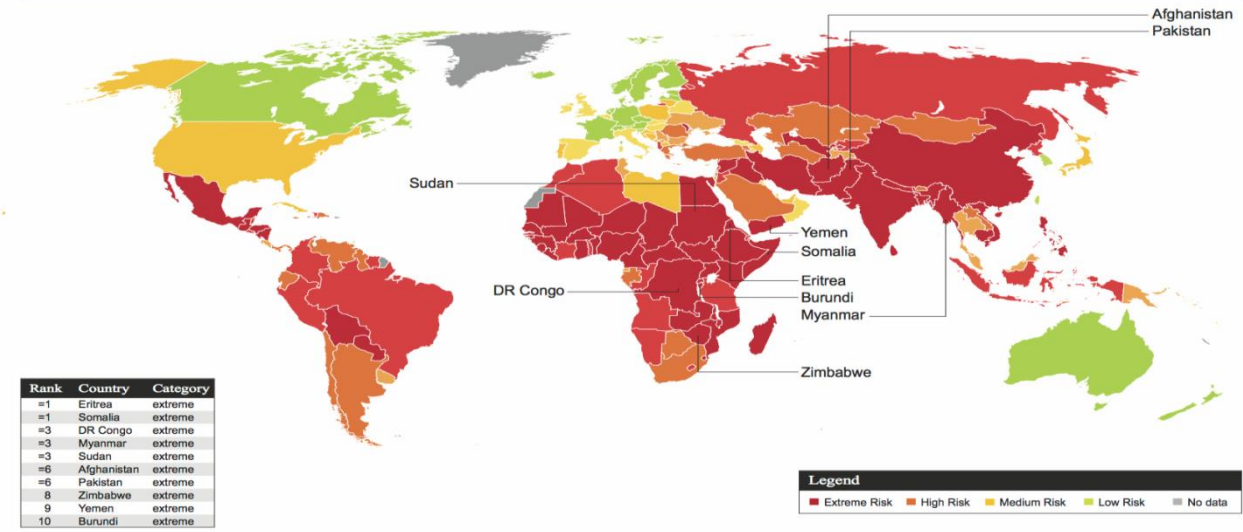
■ アジア/アフリカが大部分を占める

■ 農業部門が半分以上

→ 資源の呪いと関連？

→ 政治制度と紛争は？

■ 労働搾取 → 性的搾取 → 軍事搾取



© Maplecroft 2013 | The Towers, St Stephen's Road, Bath BA1 5JZ, United Kingdom | t: +44 (0) 1225 420 000 | www.maplecroft.com | info@maplecroft.com

図17. 児童労働の世界分布図

出所: Kevin Short. [The Global Crisis Of Child Labor, In 1 Map](#). The Huffington Post (オリジナルは [Verisk Maplecroft](#))



図18. 世界各地域の推定児童労働者数
出所: International Labour Organization (ILO). [21 million people are now victims of forced labour, ILO says](#)より引用

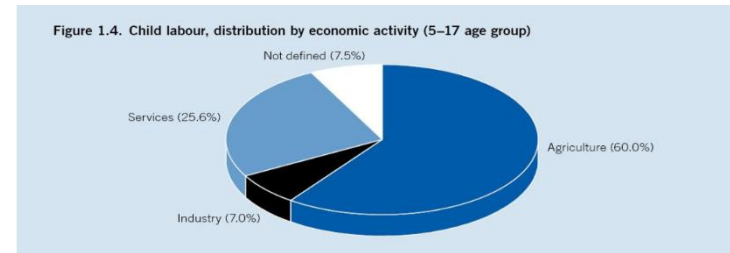


図19. 児童労働者雇用産業の構成比率
出所: ILO, (2010). [Accelerating action against child labour](#). p.11より引用

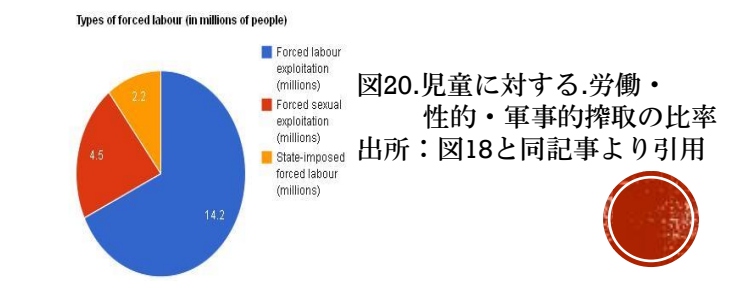


図20. 児童に対する労働・性的・軍事的搾取の比率
出所: 図18と同記事より引用

2. 資源の呪いと児童労働

- 資源の呪いは、児童労働とも関係が・・・
GDP水準が高い国ほど、児童労働は少ない
資源が豊富な発展途上国では、児童労働に依存

- 経済学によるアプローチ

Hamaguchi and Sugawara (2016)

天然資源が労働者の生産性を通じて、教育の機会費用に及ぼす効果

コーヒー豆が沢山とれると、子ども一人で採れる量が増える

人手が不足するから、賃金が上がる

子どもは、勉強をやめて働くようになる

コーヒー豆が少ししか取れないと、子ども一人で採れる量が減る

人手が余るから、賃金が下がる

勉強して、いい職業に就くと、将来の所得が増えそう・・・

子どもは勉強するようになる

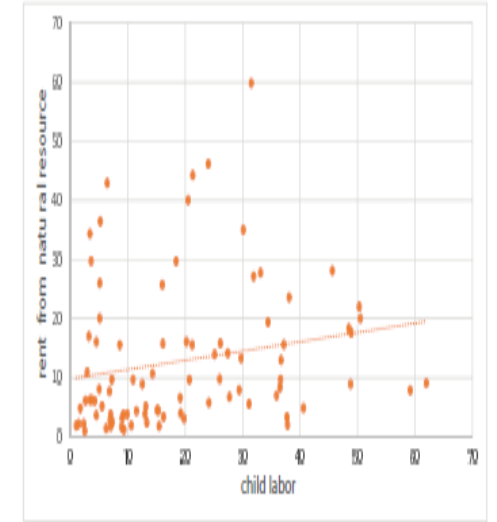
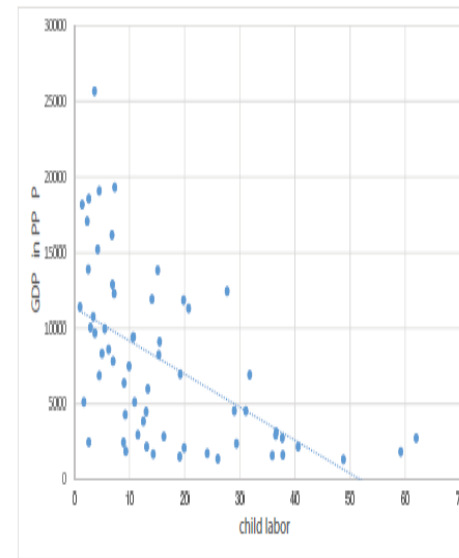


図21. 児童労働・GDP水準・資源レントの関係
出所：Hamaguchi and Sugawara (2016)より引用

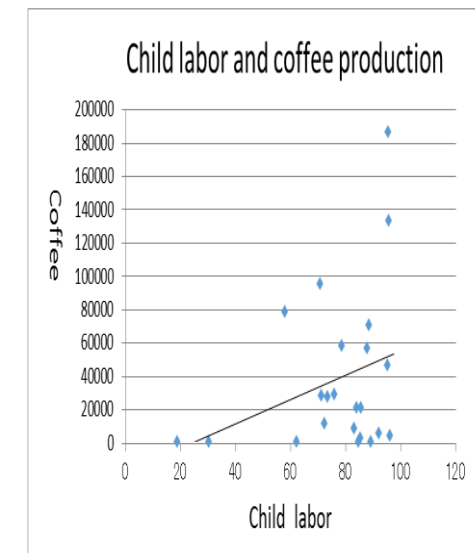
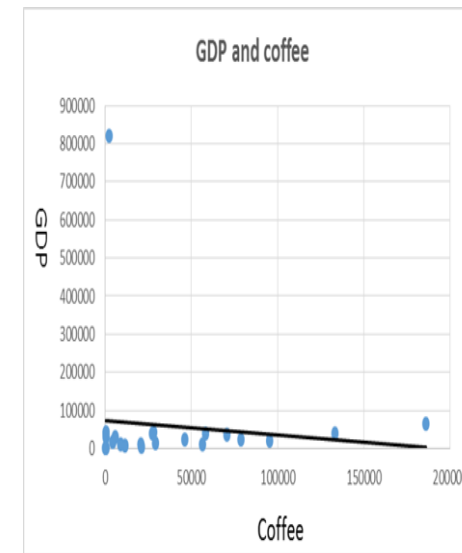


図22. 児童労働・GDP水準・コーヒー豆生産量の関係
出所：FAOSTAT, World Bank Open Dataより濱口作成



2. 資源の呪いと児童労働

政治的資源の呪い

政治腐敗は資源の呪いをさらに悪化させる

Ex.) ルワンダ・コロンビアの事例

国際コーヒー価格の高騰

政府によるコーヒー生産推進政策

富裕層の農場主と貧困層の労働者

富の分配を巡る政治・民族対立

利益誘導政治の定着 ← 多国籍企業

政治闘争から武装蜂起

資源収奪戦争へ

因果関係は？政治制度と児童労働の関係は？

色が濃い国ほど、
資源の呪いに陥る

色が濃い国ほど、
汚職に陥る

都合により割愛

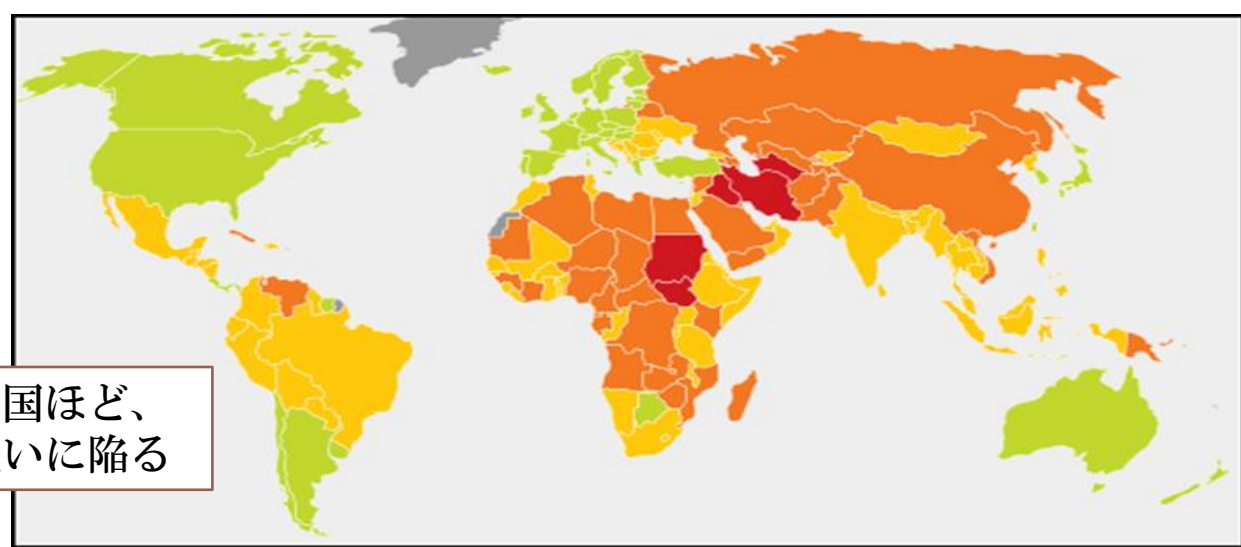


図5(再掲). 天然資源量と経済水準の関係

出所: [Issues of Justice in Global Development](#). FEW Resources.orgより引用 (オリジナルは[Verisk Maplecroft](#))

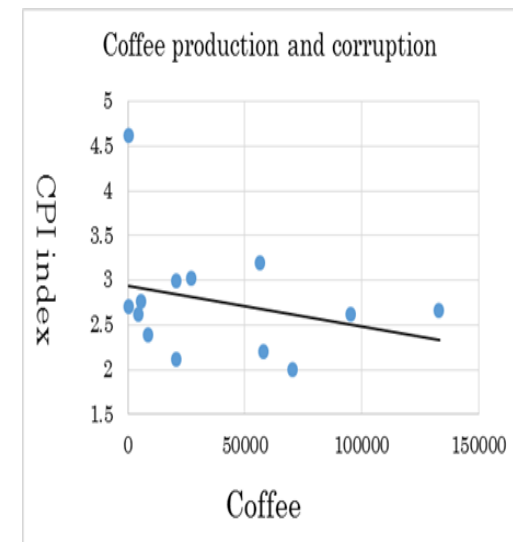


図16(再掲).

コーヒー豆生産量と政治的透明度の関係
出所: [FAOSTAT](#), [CPI by Transparency International](#)より濱口

図23. 世界の汚職水準

3. 資源の呪いと子ども兵

- 政治腐敗から資源紛争へ
政治制度の機能不全
↓ 経済対立・民族対立を解消できない
紛争の勃発
↓
子ども兵の発生
- 南スーダン紛争
ユニセフ：2011年に約16000人が子ども兵に
- 深刻な後遺症
教育水準の低下/社会的差別
身体的障害/トラウマ/暴力衝動
なぜ、資源収奪戦争が子ども兵を生むのか？
→ 民族対立・経済的動機

都合により割愛

図24. 子ども兵が確認された国・地域
出所: JICA, <http://www.jica.go.jp/world/issues/kyoiku05.html>

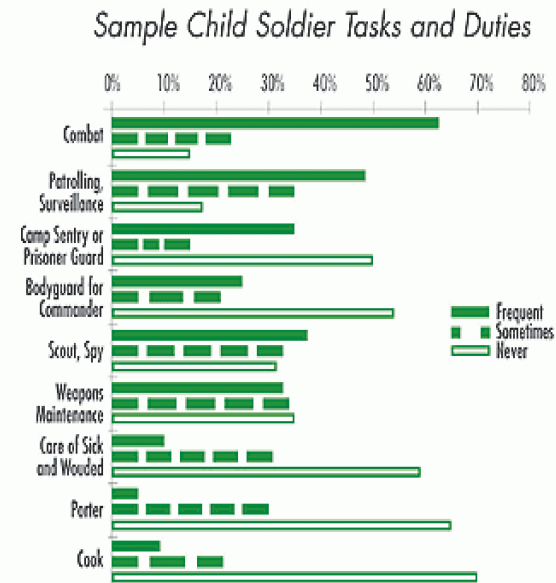


図25. 子ども兵の従事内容
出所: [Child Soldiers](#), American Federation of Teachers, AFL-CIOより引用

都合により割愛

図26. タジキスタン紛争前後における就学比率の推移
出所: Shemyakina Olga(2011) Tajikistan enrollment trends, 1989-2003.



4. 資源の呪いと開発援助 / 資源紛争と復興援助

- 資源の呪いによる児童労働は、解決できないのか？
フェアトレード
- 否定的論調も・・・ → 多額の運営費用
- 子ども兵の深刻な後遺症
教育の機会喪失/精神的トラウマ/社会的差別
→ 労働生産性の低下/政治の不安定化
⇒ 貧困削減は、紛争防止につながる
- 国際社会は、援助の手を差し伸べられないのか？
適切な援助方法/制度
→ 持続的契約の維持と大企業の参入
→ 援助格差の発生や不公平感による対立

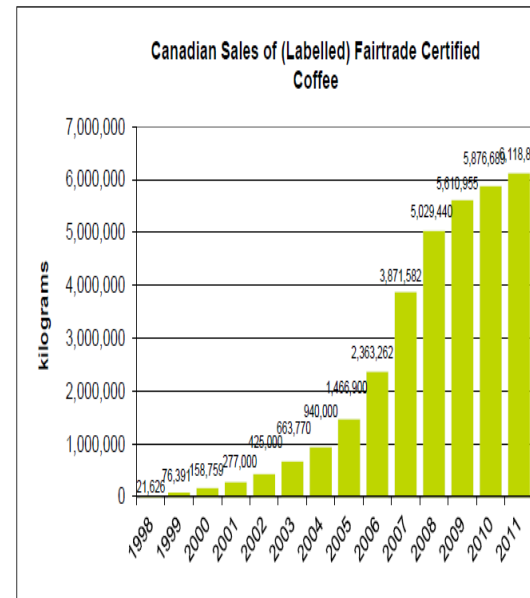


図27.カナダのフェアトレードコーヒー取扱量の推移
出所：Salman D. [Fundamentals of the Fair trade system](#). Prudent Press. より引用

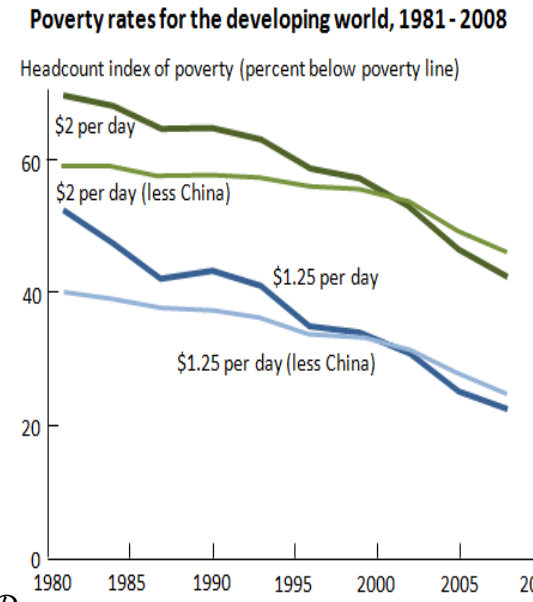


図28.世界の貧困率の推移
出所：The World Bank Group. (2012-2-29). [New Estimates Reveal Drop In Extreme Poverty, 2005-2010](#). より引用

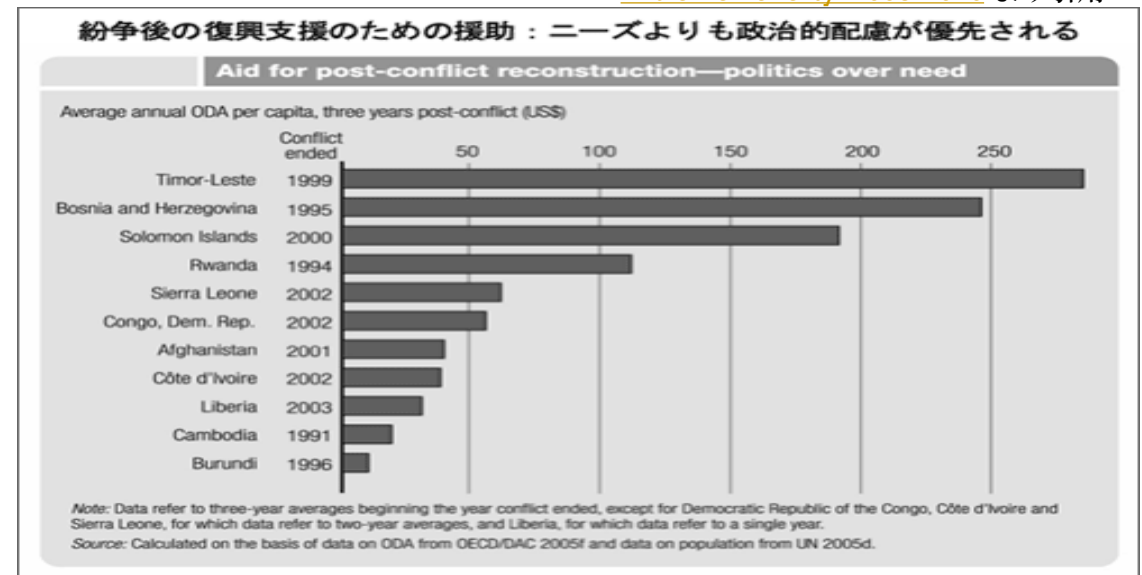


図29.紛争後3年間における資本あたり平均ODA(U.S \$)
出所：United Nations Development Programme. (2005-9-7). [人間開発報告書、貧困と武力紛争の悪循環を断つよう国際社会に訴える](#). より引用

5.終わりに

- 貧困が、児童労働や資源紛争を引き起こしているのは、明らか
- しかし、そのメカニズムは、よくわかっていない

資源の呪い・児童労働・汚職/収賄・資源紛争・子ども兵

- 開発支援策や復興支援策への懐疑論
- 今後の研究や取り組みが待たれる

事例研究・メカニズム解明・実効性ある援助活動・・・

